

平成17年11月11日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	鋼構造物の点検・モニタリング に関する新技術調査小委員会	委員長 (分科会長)	館石 和雄	連絡幹事	大鳥 靖樹
活動予定期間	平成 16年4月 ~ 平成 19年 3月				
活動の目的	社会基盤施設の維持管理を支える点検・モニタリング技術の最新動向を調査研究する。土木分野はもちろんのこと、その他の分野において実用的に用いられている技術や、まだ実用化には至っていない段階の技術に至るまで、幅広く最新の点検・モニタリング技術とその周辺技術を調査、研究することにより、土木鋼構造物への適用可能性や限界などを明らかにし、今後の発展性なども含めて、報告書としてとりまとめる。				
これまでの活動状況	<p>現在までの委員会開催状況</p> <p>第1回(H16/4/28)、第2回(H16/5/17)、第3回(H16/8/31)、第4回(H16/10/25)、第5回(H17/1/17)、第6回(H17/3/28)、第7回(H17/6/9)、8回(H17/8/22)、9回(H17/10/26)の委員会を開催した(前回報告以降は第7~9回)。</p> <p>委員会での主な審議内容と成果</p> <p>これまで、各人の興味ある事項の紹介を兼ね、各委員より話題提供を行うと共に、第5回委員会以降、今後の活動方針についての検討を進め、3WGにわかれて、文献調査等の活動を行っている(①WG名称:新技術調査WG、②鋼橋への適用性調査WG、③他分野技術の実態調査ワーキング)</p>				
今後の活動計画と目標とする成果	<p>今後は引き続き2ヶ月に1回程度の小委員会を開催する他、3WG毎に文献調査等の活動を行う。</p> <p>また以下の活動も行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による勉強会の開催 ・現場見学 ・新しい技術の実体験 ・ウェブの立ち上げ 				
その他					